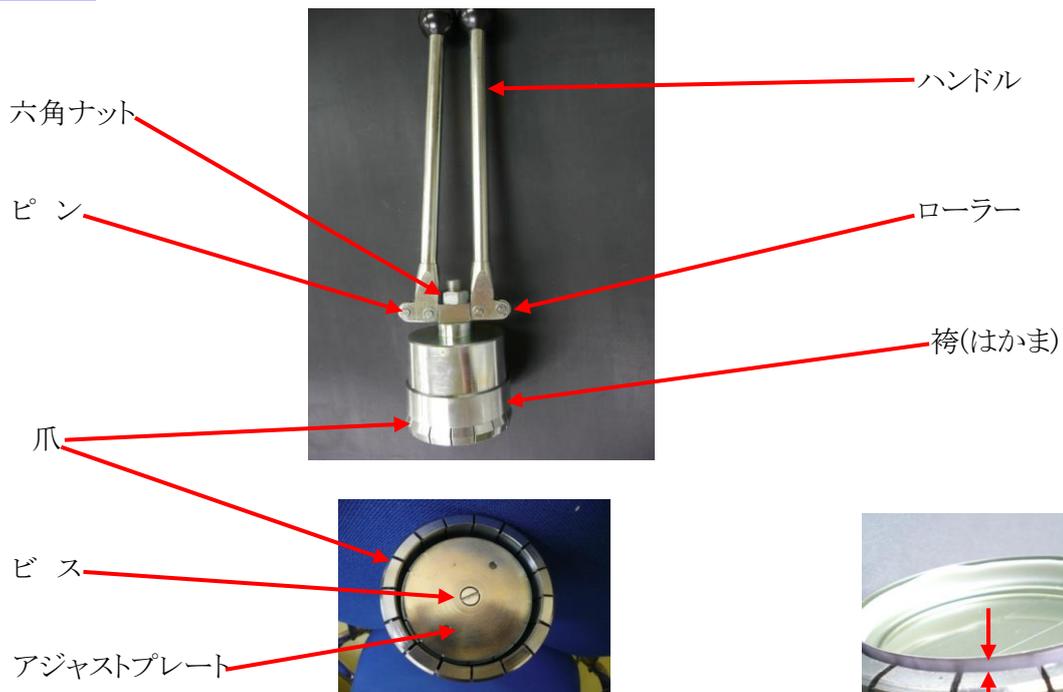


封緘(ふうかん)器の御調整方法及び取扱い上の御注意

株式会社 大和鉄工所

部品説明



調整方法

下記の場合、調整をお願いします。

1. キャップシールにシワが発生する場合

→アジャストプレートにあるビスを緩め、プレートを左右に回すことで調整が出来ます。

プレートにシールを乗せ、シールが爪よりも2.5mm～3mm出るように調整します。

短かすぎますとシール先端部を締め付けることとなり、シワが出来やすくなります。

※調整後ビスの締め直しをお忘れなくお願いします。

2. 封緘器がシールから外れない場合(いわゆる「噛んでしまった場合」)

→封緘器を口金部から外します。外れない場合はハンマー等で袴側面を軽く叩くと外れます。

次に、上の写真にあります六角ナットを緩めて爪を掴んで左に回して緩めます。

その後半回転回し、シールを締め付けます。封緘器が外れたら六角ナットを締め付け終了です。

その他、ハンドルを平行にした際に、爪が隙間無く付いているのが良い状態です。

隙間が有る場合はナットを緩め、爪を右に回してご調整下さい。ただしあまり回し過ぎますとシールが入らなくなることがあり、ハンドルも平行まで行かなくなることがあります。

キャップシール先端が爪内側先端よりも2.5mm～3mm出るようにする。

御注意

1. ローラーは消耗品です。滑らかに回らなくなった場合は、速やかに交換が必要です。消耗したまま使用しますと、ハンドル下部と袴上部が直に接触することとなり、双方にダメージが生じます。(図2)
2. 使用頻度に応じて袴と爪の間に滴油をお願いします。一日一回程度が目安と考えます。
3. 封緘器を落下させないようご注意ください。
4. 封緘器爪部分の幅は2～3mm程度が目安です。充填器メーカー様の爪の幅も購入時、確認するようお勧めいたします。

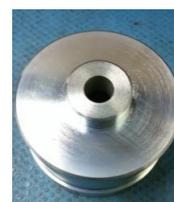
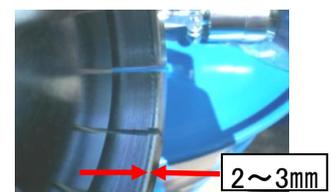


図1 正規



図2 袴上部摩耗



2～3mm